

別記様式（第3条関係）

開催記録

名 称	令和6年度 第2回会津美里町子ども・子育て会議
開催日時	令和6年7月23日 18時 30分から 19時 40分まで
開催場所	会津美里町役場本庁舎 大会議室
出席者	委員及び事務局：別紙名簿の通り（欠席者0名） 委託業者1名
議 題	（1）こども計画 骨子案について （2）子ども・子育て支援法の改正に伴う各種事業について （3）その他
資料の名称	次第 資料1 会津美里町こども計画 計画骨子案 資料2 子ども・子育て支援法等の一部を改正する法律の概要 資料3 児童手当制度の概要
記録方法	☐ 全文記録 ☐ 発言者の発言内容ごとの要点記録 ☒ 会議内容の要点記録
内容	
1 開会（山内 啓子 副会長） 2 会長あいさつ（渡部 琢也 会長） 3 協議 （1）こども計画 骨子案について 会長： それでは（1）について、事務局より説明をお願いします。 事務局： 会津美里町こども計画 計画骨子案（第2章 1～3）について説明 会長： ありがとうございました。委員の皆様からご質問等ありましたらお願いいたします。 委員： 13ページの（3）の学童保育の推移とあるのですが、これは児童館のことなのでしょうか。 事務局： そうです。 委員： だとすれば児童クラブという言葉にしたほうが分かりやすいと思います。 事務局： 学童保育という名称ではなく、児童クラブという名称のほうがよいというこ	

とでしょうか。

委員： はい、会津美里町で出すのであればそのほうが分かりやすいと思いました。それからもう1点、「利用人数」とありますが、これも多分「登録人数」のことではないでしょうか。

事務局： 登録人数です。

会長： ありがとうございます。事務局いかがですか。

事務局： 名称についてはもう一度よく確認します。確かに我々も会議の中では、児童クラブという形でよくお話させてもらうので、その名称でいいのか確認させていただきたいと思います。利用人数については、確かに登録した人数ということなので、登録人数に修正して進めていければと思います。

会長： ほかにご意見・ご質問等ありますか。

委員： 計画の中に貧困の方の話が入りますよね。そういう方たちの現状というのはこの中に入れないのですか。

事務局： 貧困関係のデータですと、8ページの生活保護受給者・世帯の推移というのが1つの指標になると思っています。それから、貧困と言っているかどうかは語弊があるかもしれませんが、10ページのひとり親で児童扶養手当を受給している人の数や、母子・父子家庭医療費の助成世帯といったものが、生活困窮の世帯と考えられます。ひとり親世帯で生活が困窮する方が多いとニュースでもよく聞きますので、イコールではないかもしれませんが関係してくると思います。あとは、13ページ下段の準要保護児童・生徒数の推移も生活保護とまではいかないですが、就学援助という部分でそれに準ずるような指標として挙げられると思うのですが、こども教育課から説明をお願いします。

事務局： 準要保護児童・生徒については先程もお話ありましたが、生活保護に準ずるということで教育委員会も認定しております。家庭の所得状況を調査して、それから国で示している標準的な生活に係る経費というのを算出して、それらを比較しながら教育委員会のほうで準要保護と認定するということなので、計画の中にも掲載をしているというところです。

委員： ありがとうございます。

会長： ほかにご質問ありますか。

委員： 11ページの(1) こども・若者人口の推移・推計の中で、令和2～6年にかけて、0～5歳のお子さんが180人減っています。しかし、令和7～11年までの5年間については70人くらいしか減らない推計になっていますが、18～39歳までの人数も5年間で537人減っていて、令和7～11年までも500人減りますけれど、この数値で間違いないのか、もっと減るのではないかという感じがしました。我々も現場にいて、こどもが減っているのは目に見えている状況なので、この数値で合っているのかお聞きしたいです。

事務局： ありがとうございます。この数値につきましては、下に記載の通り、実績をもとにコーホート変化率法で算出しています。具体的な方法としては、過去5年間の男女1歳別の人口をもとに算出しており、基本的にはその後も同様に推移すると見込んだうえで算出しています。ただし、お話いただいた通りあくまで推計になるので、実感と少し異なる部分があるかもしれませんし、社会動向や転出・転入等はなかなか見込めない部分になるので、一旦は推計としてこの数値を頭に置きつつも、お話いただいた実感という部分も含めて調整していく必要はあると考えています。

委員： ちょうどお子さんを産む世代の人たちが、令和2～11年にかけて1,000人近く減っているというのが私の中で心配な部分だったので、整合性がある形にしていたけると助かります。

第2章 7 こども・子育てを取り巻く課題について

会長： それでは続けて、7について、事務局より説明をお願いします。

事務局： 会津美里町こども計画 計画骨子案（第2章 7）について説明

会長： ありがとうございます。委員の皆様、ご意見・ご質問等ありますか。

委員： こども・若者の居場所づくりの充実など、すごくいいことが書かれてあるのですが、過去にこの町で居場所づくりをしたいという話を町にした時に、財政的なこともあり、やるつもりはないという答えが返ってきました。他にも、児童発達支援の部分の充実させていきたいという人がいて、そちらも町から必要がないという回答をもらったと聞いております。ここに書いてあることはすごくいいことだと思いますが、現在少子化で大変な部分がありますし、本当に町がここを取り組んでいかないと絵に描いた餅になってしまいます。先日も児童クラブの会議があってこの話をずっと言い続けていますが、全く充実が図れていない状況なので、このように計画を立てたのであれば、しっかり実現していけるようお願いをしたいです。よろしくお願いします。

事務局： 前回の会議でも児童クラブの件でご指摘をいただいております、事務局としても気持ちを新たに取組んでいきたいと思えます。今回の計画策定にあたりまして、これから素案を作って業務の見込み量やどんなことに取り組んでいくかという内容を具体的に入れていきます。出来ないことを書くというのは我々も出来ませんが、計画を立てたことが1つでも2つでも実現できるように検討していきたいと思えます。

会長： 昨年度の会議でもお話しさせていただきましたが、大学から会津若松市の放課後児童クラブのお手伝いなどをやっています。やはりお手伝いはシルバー人材センターの方々にお願いする現状がありますが、こどもたちが目いっぱい走ったりする時に短大生と一緒に走ってあげたり出来ますので、会津美里町でも

そういった機会があれば、ぜひ大学との関わりも活用していただければと思います。

それから今日川口高校に行ってきたのですが、金山町の「こまどり学級」という生涯学習教室を私が担当していて、川口高校のこどもたちと一緒に高齢者に向けた測定と運動指導を行ってきました。会津美里町にも高等学校がありますし、会津地域には短大も大学もありますので、そういった学校との連携を図ることが出来れば、児童クラブの問題解決にもつながるのではないかと思いますので、私も協力させていただきます。

委員： その部分では、会津西陵高校さんがボランティアで来てくれたり、夏の期間だけ会津大学さんから1名アルバイトを入れることが出来たりしています。夏休みの長時間の預かりは体力勝負になりますが、児童クラブの職員は年齢の高い人たちが多くて大変です。

事務局： 会津西陵高校さんは地元にある高校なので、私たちも今後連携をとっていったらいいなと内部では話をしていたところでした。それをどのように実現していったらいいのかはこれから検討していきたいと思います。課題はあると思いますが、委員の皆様にもご意見・ご協力いただきながら、1つずつ解決していきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

会長： ありがとうございます。ほかの委員の皆様からご意見ありましたらお願いいたします。

委員： 実は、こども・子育てを取り巻く課題というか、その全体の中で気づいたのですが、子育て支援センターの中に婚活コンシェルジュというのがあり、縁結び応援センターというのがあるのですが、このアンケートの中でも20～50代の独身の方がたくさんいらっしゃるの、そういう方たちにお声を掛けて、結婚して町に住んでいただき、こどもを産んでもらうことをもっと頑張りたいなと、この課題の中で考えました。

もう1点は、ファミリーサポート事業をやってまして、ホームサポート事業は無償なのですが、ファミリーサポートは1時間単位の有料ボランティアなんです。アンケートの「病気の際の対応」を見ると、病後児保育は0人になっていますが、本来はやっています。問い合わせがあっても、日曜・祝日だと高くなってしまって、1日5,600円になるととても大変な金額になります。そうすると、保護者の方は遠慮して利用しなくなるというのが現状です。やはり子育て支援として少しでも保護者の負担を軽くするということで、半分は町負担でお願いできれば、利用する人も増えるのではないかと考えています。

事務局： ファミリーサポートセンター事業については、確かに利用料がかかるということで使いにくい、もしくは使うのを控えてしまうのではないかとご意見でしたが、助成できる部分があるかどうかの確認も含めて検討していきたいと

思います。また改めて、打ち合わせ等させていただきたいと思います。

委員： 実際はファミリーサポート事業の病後児保育でも、軽度の熱の場合はやはり保護者に見ていただいて、3日もお休みできない場合は連絡が来て2日ほどお願いしたいということもありました。アンケートで0人にはなっていますが、そういう方がアンケートを記入する際に利用していると答えなかったのではないかなと感じました。私たちもいつも考えているのですが、いろんな形でお知らせはしても、どうやったら保護者の方に理解してもらえるかが課題です。実際は病児保育もやっていますし、土曜日はもちろん、日曜・祝日も対応できるのです。

会長： ほかにご意見等ありますか。

委員： 今お話があった部分ですが、回収結果の一覧に、就学前児童の保護者調査で16%とあり、統計なので数字としてはやむを得ないことですが、こういう現実があるということを踏まえて、実際にはどうしていかないといけないかを考えるべきだと思いました。就学前児童保護者が16%、小学生児童保護者が15%で、漏れている回答が相当あるという前提を踏まえて議論していかなければいけないと感じました。

もう1つは、実行に向けては予算付けが出てくるとは思いますが、見込みというものもあるのでしょうか。令和7年度、8年度にはこのくらいこうしていくというような町としての計画はこれからでしょうか。

3つ目は、計画そのものについて前回、前々回から思ったのですが、今の世の中いろいろな子育ての問題があるということは分かるのですが、問題がない子どもたちもいるはずで。そこに対しての言及が一切ないなと思っていたので、もっと前向きな話があってもいいなと感じました。

事務局： まず、アンケートについては回収率が大変低いので、お話された通りここに現れていない部分もきちんと把握する必要があることは十分認識しております。2つ目の予算については、毎年度予算編成をしますが、現段階でどの程度の見込みかというのをお示しするのは難しいです。当然、課題というのは毎年変わりますし、計画を踏まえて優先順位をつけながら実証していくということになります。ただ、子ども関連の予算は、町全体の中でも優先順位を高くつけていますので、ご理解いただければと思います。

それから前向きな話をという点ですが、この7番については課題についてまとめているので、マイナスな面が強調されて、その課題を解決するにはどうしたらいいのかという部分になります。一方で、町として力を入れていく前向きな話としては、この後の計画の中で取り入れていく必要性はあると思いますので、その点は十分踏まえていきたいと思います。併せて、そういったご意見も皆様からぜひいただければと思いますので、よろしく願いいたします。

会長：	ありがとうございます。ほかにご意見ありますか。
委員：	引きこもり・不登校の数値は計画に入らないのかということを聞きたいです。やはり今注目されている部分なので、会津美里町の引きこもりの状況など把握されているのかどうなのか、お聞きしたいです。
事務局：	引きこもり件数のデータとしては当然持っておりまして、それに対しての対策といった部分は教育委員会と実施しているところであります。この後、皆様のご意見で計画の中にも必要ですねということになれば、いれたいと思います。
委員：	関係団体ヒアリング調査の中にひきこもりや不登校についてという項目があったので、関係団体にはヒアリングしているのに数値は出てこないのかなと思ったので、お話しさせていただきました。
事務局：	そのあたりの整合性についてもう一度確認したいと思います。
会長：	そのほかにありますでしょうか。私からすみません。もっと前に言うべきでしたが、8月22日に宮川の放課後児童クラブで運動指導に入らせていただきます。前向きな話ということで、そういったご要望等あればお寄せいただければと思います。 ほかになければ次に進みます。
第3章 計画の基本的な考え方について	
事務局：	会津美里町こども計画 計画骨子案（第3章）について説明
会長：	ありがとうございました。委員の皆様からご意見等ありますか。
委員：	基本理念を見て、今の計画だとこども・子育てに主眼がありましたが、今回の基本理念は「こどものやりたい」が実現できるという、こども中心の視点で考えていこうという部分が変わったなと思いました。主役はこどもや若者になるので、こういった理念になるのは良いことだなと感じました。
会長：	私も今度、社会教育として「こそだっち」という、どうやってこどもたちの主体性を担保しているかという話し合いをしていくのですが、今お話があったように主観がそちらに向かっていくのは良いことだなという感想を持ちました。我々も、こどもたちの主体性を促すような教育を心がけてやっているの、会津美里町さんでもこういった方向性になるのは良いと思います。なにか委員の皆様からも感想ありましたらお願いいたします。
委員：	感想になりますが、一番下の基本施策に出会いの場・結婚への支援という言葉がありほっとしました。私たちは自分たちでもやっているの、すごく嬉しいです。ありがとうございます。
会長：	私がいる会津大学短期大学部の幼児教育学科も9割以上女子学生なのですが、そういった場をどういう風につなげていくかという事を学生とも話しますので、なかなか難しい問題だとは思いますが、そういった支援もお手伝い出来

ればと思います。

(2) 子ども・子育て支援法の改正に伴う各種事業について

委員長： それでは(2)について、事務局より説明をお願いします。

事務局： 子ども・子育て支援法等の一部を改正する法律の概要、児童手当制度の概要について説明

会長： ありがとうございます。委員の皆様方ご意見ありますでしょうか。

委員： 国の法律の概要については情報が入ってくるのですが、これから消滅都市になると言われている会津美里町が少子化を止めて人口を増やしていこうとしたときに、国の政策と同じことをやっても変わらないと思うので、できれば会津美里町として子どもたちにしていけることを考えてほしい。私が研修などで成功した市町村の話聞いても、独自の政策に伴って独自でお金を出しているので予算の問題はありますが、消滅都市にならないためには会津美里町の独自性と、もっとこんな子育てができる町にしたいんだという思いを持って取り組んでほしいと願っています。

事務局： まさにおっしゃる通りで、町としても同じ考えであります。当然予算の制限はありますが、その中で子どもたちに向けて何ができるのか。先ほどの議題でも、計画の中に前向きな話を入れてほしいという要望がありましたので、皆様のご意見をいただきながら良い計画を作っていきたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

委員： 近くの町村でいうと、磐梯町も教育の再計画デザインという形で、他県から先生を呼んで、町の教育全体を変えていこうという新しい取り組みを始めたみたいです。この会津美里町もとてもよい環境なので、その点を活かせば、次の世代の人たちがもっと子育てしやすい町にできるのではないかと思います。

会長： ほかの委員の皆様ご意見等ありますでしょうか。

私も色々な地域に行かせていただくのですが、こどもの筋肉量を測定したり、喜多方市さんと一緒に子育て支援になるようなイベントを開いたりしています。こどもの健やかな成長に向けた取り組みを今後もやっていきたいなと思っていますので、皆様と協力しながら、子育てにプラスになるような情報提供も行っていきたいと思いますので、お手伝いできることがあればご相談ください。

また、もう少ししたら、本郷こども園と他園の比較・分析データなども出てくると思いますので、会津美里町の子どもたちがどんな状況なのかということも少し分かります。私も分析はこれからですが、大学の教員として役立つ情報をお出しして、住みやすい町になるお手伝いができればと思っています。

(3) その他

会長： それでは（３）その他について、事務局よりお願いします。
事務局： 特にありません。
会長： では、協議は以上となりますので、事務局にお返ししたいと思います。

４ その他

事務局： 次回の会議予定について説明

５ 閉会（山内 啓子 副会長）

以上、開催記録として報告します。

委員名簿

(敬称略)

No.	氏 名	所 属 等	備考	出欠
1	星 直子	高田地域保護者代表		出席
2	星 真崇	本郷地域保護者代表		出席
3	齋藤 優	新鶴地域保護者代表		出席
4	天竺 昌明	認定こども園ひかり理事長		出席
5	安達 和重	社会福祉法人 会津美里町社会福祉協議会		出席
6	山内 啓子	NPO法人子育てネットワーク 「ぽけっと」理事長	副会長	出席
7	長嶺 和子	新鶴こども園長		出席
8	渡部 琢也	公立大学法人会津大学 会津大学短期大学部 幼児教育学科 講師	会長	出席
9	佐藤 義雄	一般公募		出席

事務局

所 属	職 名	氏 名
健康ふくし課	課長	渡部 朋宏
	こども家庭支援室 主幹	福田富美代
	こども家庭支援室 室長	小林 早苗
	こども家庭支援室 こども家庭支援係長	阿部健太郎
	こども家庭支援室 こども家庭支援係 主査	上野 裕道
こども教育課	課長	大竹 淳志
	こども教育係長	榎森 正典